3.5つの基本戦略に基づく施策

(1) 施策の全体体系

5つの基本戦略に基づき展開する、施策(重点施策含む)の全体体系を示します。



自然環境や土地利用等に応じて、各 目標 ゾーンの生物多様性が維持・再生され、 その結果、向上・回復しています。

多様な生物が棲むことができる自然環境の維持・再生

重点施策1

貴重な自然環境を維持・再生し、生態系の多様性を回復・ 向上させます。

- 苫小牧市自然環境保全地区の現状把握および、今後の管理と利用の基本方針を策定します。
- 市有林において、森林整備計画に基づき、適正な森林施業を行い、生物多様性の保全に寄与します。
- 河川や海浜の水辺の緑の保全として、適切な管理により苫小牧川、錦岡川、小糸魚川の親水施設機能を維持します。
- 4. まちの骨格・シンボルとなる緑の保全 と活用:都市地域に続く緑、水辺の緑 を文化的な行事や水鳥観察地として活用 します(樽前山、錦大沼公園、ウトナ イ湖、苫東・つた森山林、弁天沼)。また 、特に水鳥の生息地として国際的に重要 な湿地については、鳥獣保護区としての 指定を検討します。
- 河川や海浜の水辺の緑の保全・活用のため、港湾管理者と連携して、可能な範囲での自然海岸の植生の維持等に努めます
- 6. 北海道へ美々川自然再生事業の促進や ウトナイ湖の水深改善について継続的 に要望するとともに、安平川水系(安 平川、勇払川、美々川)の水質や水量の 監視を実施します。
- 7. ウトナイ湖周辺の水鳥モニタリング調 査結果等の自然情報を公開します。
- トキサタマップ温原を保全対象とし、 環境基礎調査と継続的なモニタリング を行うとともに、在り方を検討します。
- 市街地北側の丘陵地から海浜の緑をつなぐエコロジカルネットワークを保全します。

- 10. 身近な緑(樹木や草花)とのふれあ いの場として緑地公園等の機能を維 持・管理します。
- 11. 苫小牧市版OECM を推進します。
- 12.生物多様性の取組を支援する枠組み (仮称)生物多様性の保全と活動認定 証制度を検討します。
- 13.生物多様性増進活動促進法に基づいた 自然環境の維持、回復又は創出します。
- 14.企業や団体等との連携により、自然環 境を維持、回復又は創出します。
- 15.森林環境譲与税を活用し、生物多様性 に配慮した整備事業を推進します。

ヒグマやエゾシカについて 施策2 ゾーンごとに順応的な管理 手法を検討します。

- 1. 鳥獣被害防止対策として、防除や捕獲 等の対策を加速化させ、官民連携によ る効果的な森林被害対策と捕獲数の拡 大を目指し、狩猟免許取得のPR活動や 講習会の実施、野生鳥獣における害実 態の把握調査と生息分布調査、エゾシ カ円卓会議を実施します。
- とグマ対策:ドローンを活用したヒグマの出没、行動把握を行います。
- 3. ヒグマ対策: 危険箇所等の把握と関係 機関との協議・連携を行います。
- 4. ヒグマ対策:ゾーン管理計画を策定します。
- 5. ヒグマ対策: ヒグマへの適切な対応を 学ぶための普及啓発や勉強会を実施し ます。

外来生物の侵入を防ぎ適 施策3 切な対処により被害を抑 制します。

- 港湾におけるヒアリの定着を防止する ため、国と協力して監視します。
- ミシシッピアカミミガメやアメリカザリ ガニ等の外来生物の放流禁止看板の設置 による市民周知・啓発を行います。
- 外来生物に関する普及啓発及び駆除作業を実施します。
- 自然環境保全地区等において、市民・ 事業者による抜き取り等外来種対策を 支援します。
- 港湾部周辺の外来植物の侵入・定着状況の現状把握と情報発信を行います。
- アライグマ対策用品(箱わな等)の貸 し出しによる捕獲頭数の拡大を推進します。

施策 4 勇払原野に自生するハスカップを保全し継続的に活用するため、生育環境のモニタリングと生育地の保全に取り組みます。

【再掲】重点施策1、8、11、12、13、 14、15と連携して推進します。



関係部署や関係機関が連携して、 目標 施策課題の解決に生物多様性を 活用して取り組んでいます。

様々な施策課題の解決に、山一川一湿原一湖沼一海の生態系を活用

重点 施策1

自然を活用した解決策 (NbS) を導入し、生物 多様性保全、気候変動緩 和、循環型社会の構築を さらに推進します。

1. 【①1-5 再掲】河川や海浜の水辺の緑 の保全・活用のため、港湾管理者と連 携して、可能な範囲での自然海岸の植 生の維持等に努めます。

- 2. 再生可能エネルギー導入に係るリスク の可視化と点検を実施します。
- 3. 雨水貯留等のグリーンインフラ機能の 維持としての、安平川水系河川整備計 画における、弁天沼周辺の河道内調整 地の生物多様性の保全に配慮した工事 の実施を要望します。

多様なステークホルダー (利害関係者) が連携す 施策2 ることで、社会課題の 解決につなげます。

- 1. 生物多様性保全に資する研究・活動 にフィールドを提供します。
- 2. 海岸の生物多様性保全として、団体・ 市民等と協力した海岸清掃や、生分解 性プラスチックへの移行推進等を行い ます。



目標

生物多様性の恵み(ハスカップ等 の自然資源や水産資源、農作物、 豊富な水等)により、新たなビジ ネス展開を生みだしています。

ネイチャーポジティブを達成する地域産業や市民の暮らしの活性化

重点

生物多様性に配慮したビジ ネスモデルへの確実な移行 と、苫小牧市特有の生物多 施策1 様性(豊富な水やハスカッ ブ等)を活用した産業を創 出・育成します。

- 1. 【11-12 再掲】生物多様性の取組を支 援する枠組み (仮称) 生物多様性の保全 と活動認定証制度を検討します。
- 2. ハスカップ、ヤチヤナギ等、自生種の 保存と活用に向けた活動を推進し、保 護増殖等の取組を支援します。
- 3. エゾシカの適正管理による被害の軽減と 有効活用を推進します。

施策2

持続可能な農林水産業へ の転換を積極的に推進し ます。

- 1. 漁獲対象種のサイズ制限や禁漁期間の 設定等により、ホッキガイ、サケ、マ ツカワ等の持続可能な水産資源の確保 と、ふ化事業を推進します。
- 2. 地場産品の積極的な学校給食への活用推 進と、子供たちへの食育を行います。
- 3. 環境負荷低減に配慮した農業の普及啓 発に取り組みます。

生物多様性を活用して二 施策3 次・三次産業を積極的に

1. 樽前山、美々川、ウトナイ湖を対象と した苫小牧市への誘致モニターツアー を実施し、生物多様性を学べるモデル コースを設定します。

支援します。

- 2. エコツーリズムに関する情報 (ツアー やフットパス等)を集約して発信し、 エコツーリズムにおけるマナーの啓発 も行います。
- 3. エコツーリズムとしての野鳥観察や湿 原利用のルールを作成します。
- 4. ビジット苫小牧観光会議等の場を活用 し、エコツーリズムの気運の醸成を図 ります。



目標

全ての人が自然再興に向けて行動 変容をし、あらゆる自然の恵みを 活用して豊かな生活を送っていま す。

自然と生きものと共存できる暮らしへの転換、潤いある生活と文化の継承

重点 環境教育を強化し、生物 多様性に関わるユース世 施策1 代の活躍を支援します。 生物多様性を活用し、誰も がウェルピーイング(身体 的に良好なだけでなく心身 ともに満たされた状態)を 感じられるまちを実現しま す。

樽前山から海へと続く、 施策3 苫小牧ならではの郷土の 風景、文化を維持します。

- 1. 小学校等での環境教育を実施します。
- 2. 環境副読本の更新時に、生物多様性に 関する記載を盛り込みます。
- 地域と連携した緑化活動等にて、自然 環境や生物多様性について学べる環境 教育を実施します。
- プラスチックごみの排出量を削減する ために、市民や事業者の行動変容を促 すための支援を実施します。
- 道の駅、ウトナイ湖遊歩道等、自然と 触れ合う場の維持・管理や利用者に対 する情報発信を実施します。
- 2. 生物多様性や文化継承に関連する調座 や資格講習会の実施、ボランティア機 会の創出、人材育成、緑化相談、情報 発信等を実施します。
- 3. 北海道大学苫小牧研究林の研究活動や 教育活動を広く市民に共有する機会を 支援します。
- 就労支援として、生物多様性の保全に役立つ技術習得(緑地管理の軽作業や、自然の知識等)のためのプログラムを実施します。
- 5. ウェルビーイングを向上するため、誰もが(多様な対象)自然の恩恵を受けられるよう、緑や生きものをとおした自然体験の機会を創出します。

1. 【②2-2 再掲】海岸の生物多様性保全と して、団体・市民等と協力した海岸清 掃や、生分解性プラスチックへの移行 推進等を行います。

野生動物と人との軋轢を 施策4解消するため、具体的な 対策を検討します。

- エゾシカ円卓会議を継続して実施することで、対応策の検討に活かします。
- 市民向けの野生動物に関する勉強会や 出前講座等を実施します。
- 苫小牧市自然環境保全審議会による協力体制の構築と進行管理を行います。



自然・生物情報を活用するための基盤整備

目標 して係 実行さ

自然情報データベースを活用 して保全対策や新たな施策が 実行されています。

科学的なデータや自然情報 の蓄積と共有、情報交換の 重点 場を整備、市域全体の生態 系ネットワークを見える化 (地図化) し、基本戦略① ②③④を円滑にかつ具体的 に進めます。

生物多様性の向上に資す 施策2 る取組を支援する制度設 計を推進します。 北海道、周辺市町村、国 との連携を強化し、産学 官民のALL苫小牧で、生 物多様性の保全対策を推 進します。

- 国や北海道、苫小牧市美術博物館等と 連携して、基礎的な生物調査や環境調査を実施し、科学的なデータを蓄積します。
- 自然環境に関する情報(生物情報データベース、自然利用ルール等の教育情報、エコツーリズム情報等)をオンラインのポータルに集約して公開し、SNS等も活用して情報を発信します。
- 保全活動に活用するため、ハスカップ やヤチヤナギの自生地情報を苫小牧市 美術博物館で集約し、自生地マップを 作成します。
- 生物多様性の回復・創出支援用の生物 多様性現状マップ(多様性の向上が可能、劣化地を示したマップ)を随時更新します。
- 5. 苫小牧市指標種の選定を行います。
- 6. 苫小牧市版レッドリストを作成します。
- 7. 指標種を対象とした市民参加型調査を 実施します。

- 環境保全や生物多様性に配慮した企業 の取組に対してのインセンティブ(入 札参加要件の優遇、加点措置等)を設 定します。
- 2. 市の事業で生物多様性への不可逆的な 作用がないか点検します。
- 近隣自治体及び北海道、国との広域連携を強化します。また、必要に応じて生物多様性地域戦略の見直し等を行い、ALL苫小牧で戦略を確実に推進します。

(2) 施策と具体的な取組

以下に示したそれぞれの具体的な取組は、本戦略の策定時に新しく定めた「新規の取組」、関係する他計画において既に実施されている取組については、「継続する取組」と、より生物多様性の向上に寄与するように取組内容を「拡充する取組」として再構築しました。取組にはその達成度を評価する指標を設定し、取組の有効性を見える形で評価します。

基本戦略 ① : 多様な生物が棲むことができる自然環境の維持・再生

施策1:【重点】 貴重な自然環境を維持・再生し、生態系の多様性を回復・

向上させます。

取組 ID	取組内容			取組種類
指標	指標内容			
関連ゾーン	ゾーン番号	関連部署	部署名	

1.	苫小牧市自然環境保全地区の現状把握および、今後の管理と利用の基本 方針を策定します。			拡充
指標	現地調査の実施			
	管理と利用の基本方針の策定			
関連ゾーン	C, E, D	関連部署	環境衛生部環境生活課	

2.	市有林において、森林整備計画 多様性の保全に寄与します。	画に基づき、	適正な森林施業を行い、生物	拡充
	市有林森林施業面積			
指標	指標種の確認(有無/毎年)			
即本ゾ、ハ	C	1月、古か翌	· 都市建設部緑地公園課	
関連ゾーン 		関連部署	• 環境衛生部環境生活課	

3.	河川や海浜の水辺の緑の保全と 川、小糸魚川の親水施設機能を			拡充
指標	親水施設機能の維持			
関連ゾーン	C, E	関連部署	都市建設部維持課	

基本戦略① 施策1

垦.	本戦略① 施策	1				
		まちの骨格・シンボルとなる総 の緑を文化的な行事や水鳥観察				
	4.	園、ウトナイ湖、苫東・つた森	山林、弁天洋	召)。また、特に水鳥の生息地	拡充	
		として国際的に重要な湿地につ	ついては、鳥	獣保護区としての指定を検討		
		します。				
	指標	生物多様性に寄与する活用実		 		
	関連ゾーン	A, B, C, D, E 関連部署 ・都市建設部緑地公園課 ・環境衛生部環境生活課				
				20 21 M2 = 12 2 2 1 M		
	5.	河川や海浜の水辺の緑の保全・			拡充	
-		能な範囲での自然海岸の植生の)維持等に努る	めます。		
-	指標	指標種の確認(有無/毎年)				
	関連ゾーン	E, F	関連部署	・産業経済部企業政策室港湾 振興課 ・都市建設部維持課	企業	
				• 環境衛生部環境生活課		
		北海道へ美々川自然再生事業の				
	6.	続的に要望するとともに、安平			拡充	
		や水量の監視を実施します。		THE STATE OF THE S		
-	 指標	水質・水量の監視 (1回1/年)				
	関連ゾーン	C, D	関連部署	・環境衛生部ゼロカーボン推 ・総合政策部まちづくり推進 政策課		
				• 環境衛生部環境生活課		
	7.	ウトナイ湖周辺の水鳥モニタ す。	リング調査約	吉果等の自然情報を公開しま	継続	
	指標	調査結果の公表 (常時)				
	関連ゾーン	D	関連部署	環境衛生部環境生活課		
	8.	トキサタマップ湿原を保全対象			拡充	
-		ングを行うとともに、在り方を				
	指標	環境基礎調査とモニタリングの	実施			
		在り方の検討				
	関連ゾーン	C	関連部署	環境衛生部環境生活課		

基本戦略① 旅	策 1				
9.	市街地北側の丘陵地から海浜の	市街地北側の丘陵地から海浜の緑をつなぐエコロジカルネットワークを拡充			
	保全します。				
指標 	指標種の確認(有無/毎年)	I			
関連ゾーン	C, D, E, F	関連部署	都市建設部維持課		
10.	身近な緑(樹木や草花)とのえ 持・管理します。	ふれあいの場	として公園や緑地を適切に維	継続	
指標	市民一人当たりの公園・緑地の)開設面積(l	na)		
関連ゾーン	C, D, E, F	関連部署	都市建設部緑地公園課		
11.	苫小牧市版 OECM を推進します	0		 新規	
指標	"T-OECM(仮称)"認証件数	(5 件/令和 12	2年 (2030年) まで)		
関連ゾーン	C, D, E, F	関連部署	環境衛生部環境生活課		
12.	生物多様性の取組を支援する枠組み(仮称)生物多様性の保全と活動認 定証制度を検討します			新規	
指標	認証制度の導入検討				
関連ゾーン	-	関連部署	環境衛生部環境生活課		
13.	生物多様性増進活動促進法に基ます。		環境の維持、回復又は創出し	新規	
指標	「連携増進活動実施計画」の携	 是出、「生物多			
関連ゾーン	-	関連部署	環境衛生部環境生活課		
14.	企業や団体等との連携により、	自然環境を	維持、回復又は創出します。	新規	
指標	連携した取組の回数(3回/年)				
関連ゾーン	_	関連部署	・環境衛生部環境生活課・産業経済部企業政策室港湾振興課・環境衛生部ゼロごみ推進室み推進課		
	·		·		
15.	森林環境譲与税を活用し、生物	多様性に配慮	遠した整備事業を推進します。	新規	
指標	譲与税を利用した事業の検討				
関連ゾーン	_	関連部署	・環境衛生部環境生活課		
		内定即有	・都市建設部緑地公園課		

基本戦略①

施策 2 : ヒグマやエゾシカについてゾーンごとに順応的な管理手法を検討しま

す。

	る状性~				
1.	鳥獣被害防止対策として、防除や捕獲等の対策を加速化させ、官民連携による効果的な森林被害対策と捕獲数の拡大をめざし、狩猟免許取得の拡充 PR 活動や講習会の実施、野生鳥獣における被害実態の把握調査と生息分				
		調査、エゾシカ円卓会議を実施します。			
指標	エゾシカ捕獲頭数の増加(180	頭/年)			
関連ゾーン	_	関連部署	環境衛生部環境生活課		
2.	ヒグマ対策:ドローンを活用し	たヒグマの	出没、行動把握を行います。	新規	
指標	調査の実施				
関連ゾーン	全域	関連部署	環境衛生部環境生活課		
3.	ヒグマ対策:危険箇所等の把握と関係機関との協議・連携を行います。			新規	
指標	ヒグマ対応訓練の実施(1回/	年)			
関連ゾーン	_	関連部署	環境衛生部環境生活課		
4.	ヒグマ対策:ゾーン管理計画を	策定します。		新規	
指標	計画の策定				
関連ゾーン	-	関連部署	環境衛生部環境生活課		
5.	ヒグマ対策:ヒグマへの適切な	よ対応を学ぶ	ための普及啓発や勉強会を実	新規	
J.	施します。			7171796	
指標	勉強会の実施回数(1回/年)				
11175	普及啓発のための情報発信				
関連ゾーン	_	関連部署	環境衛生部環境生活課		
			•		

施策 3 : 外来生物の侵入を防ぎ適切な対処により被害を抑制します。

<肔束を推進り	る 収 祖 /			
1.	港湾におけるヒアリの定着を防	5止するため、	、国と協力して監視します。	拡充
指標	ヒアリの定着件数 (0件 (無し)/令和 12 4	年 (2030年) まで)	
関連ゾーン	F	関連部署	環境衛生部環境生活課産業経済部企業政策室港湾 振興課	・企業
2.	ミシシッピアカミミガメやアっ 板の設置による市民周知・啓発			拡充
指標	啓発・注意看板の設置		1	
関連ゾーン	С	関連部署	・環境衛生部環境生活課 ・都市建設部緑地公園課	
3.	3. 外来生物に関する普及啓発及び駆除作業を実施します。 拡充			
 指標	外来生物の駆除の実施(1回/4		ZNE U S Y o	1/4/1
関連ゾーン	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	関連部署	環境衛生部環境生活課	
			块块倒生和块块生值床 	
4.	自然環境保全地区等において、 策を支援します。	市民・事業	者による抜き取り等外来種対	新規
指標	外来種対策実施件数(1件/年)			
関連ゾーン	C, D, E	関連部署	環境衛生部環境生活課	
5.	港湾部周辺の外来植物の侵入・ す。	定着状況の	現状把握と情報発信を行いま	新規
指標	現状把握と情報発信			
関連ゾーン	D, F	関連部署	環境衛生部環境生活課	
6.	アライグマ対策用品(箱わな等 進します。	等) の貸し出	しによる捕獲頭数の拡大を推	新規
 指標	捕獲頭数 (500 頭/年)		I	
関連ゾーン	_	関連部署	環境衛生部環境生活課	

基本戦略①

施策 4 : 勇払原野に自生するハスカップを保全し継続的に活用するため、生育環境

のモニタリングと生育地の保全に取り組みます。

(重点施策 1,8,11,12,13,14,15 と連携して推進します。)

基本戦略 ② : 様々な施策課題の解決に、山-川-湿原-湖沼-海の生態系を活用

施策1:【重点】自然を活用した解決策(NbS)を導入し、生物多様性保

全、気候変動緩和、循環型社会の構築をさらに推進します。

	【基本戦略①施策 1-5 再掲】河	「川や海浜の7	水辺の緑の保全・活用のため、			
1.	港湾管理者と連携して、可能な範囲での自然海岸の植生の維持等に努め			拡充		
	ます。	とす。				
指標	【再掲】指標種の確認(有無/	毎年)				
			·産業経済部企業政策室港湾	・企業		
関連ゾーン	E, F	関連部署	振興課			
	E, T	内廷即有	• 都市建設部維持課			
			・環境衛生部環境生活課			
2.	再生可能エネルギー導入に係る	リスクの可	規化と点検を実施します。	拡充		
指標	点検の実施					
関連ゾーン	_	関連部署	環境衛生部ゼロカーボン推進	室		
	雨水貯留等のグリーンインフラ	ラ機能の維持	としての、安平川水系河川整			
3.	備計画における、弁天沼周辺の)河道内調整	地の生物多様性の保全に配慮	拡充		
	した工事の実施を要望します。					
指標	継続的な要望・工事の監視					
関連ゾーン	D	関連部署	環境衛生部環境生活課			

推進体制と進行管理

施策 2 : 多様なステークホルダー (利害関係者) が連携することで、社会

課題の解決につなげます。

1.	生物多様性保全に資する研究・活動にフィールドを提供します。			拡充
指標	フィールド提供件数 (3件/令和12年 (2030年) まで)			
関連ゾーン	C, D, E, F	関連部署	環境衛生部環境生活課	

2.		海岸の生物多様性保全として、団体・市民等と協力した海岸清掃や、生			継続
	۷.	分解性プラスチックへの移行推	推等を行い:	ます。	小区的几
	指標	海岸清掃の実施回数 (3回/年)			
	関連ゾーン	F	関連部署	環境衛生部ゼロごみ推進室ゼ 推進課	ロごみ

基本戦略 ③ : ネイチャーポジティブを達成する地域産業や市民の暮らしの活性化

施策1: 【重点】生物多様性に配慮したビジネスモデルへの確実な移行と、

苫小牧市特有の生物多様性(豊富な水やハスカップ等)を活用した

産業を創出・育成します。

<施策を推進する取組>					
1.	【基本戦略①施策 1-12 再掲】生物多様性の取組を支援する枠組み(仮称) 生物多様性の保全と活動認定証制度を検討します。			新規	
指標	【再掲】認証制度の導入検討				
関連ゾーン	-	関連部署	環境衛生部環境生活課		
2.	ハスカップ、ヤチヤナギ等、自生種の保存と活用に向けた活動を推進し、 広 保護増殖等の取組を支援します。				
指標	ハスカップバンクへの参加団体数増加 取組参加者の増加(8団体、延べ参加者数の増) ハスカップやヤチヤナギの遺伝資源の保存場所の確保目標値(3箇所/2030年 まで)				
関連ゾーン	C, D, E	関連部署	・環境衛生部環境生活課 ・都市建設部緑地公園課		
3.	エゾシカの適正管理による被害	手の軽減と有効	効活用を推進します。	新規	
	農業被宝の低減				

3.	エゾシカの適正管理による被害の軽減と有効活用を推進します。 新規				
農業被害の低減					
指標	野生鳥獣による被害額(前年比で減少) 交通事故件数(前年比で減少)				
	・環境衛生部環境生活課				
関連ゾーン	関連ゾーン B, C, D, E, F 関連部署 ・産業経済部産業振興室農業				
		興課			

施策2: 持続可能な農林水産業への転換を積極的に推進します。

1	漁獲対象種のサイズ制限や禁漁期間の設定等により、ホッキガイ、サケ、拡充			
1.	マツカワ等の持続可能な水産資源の確保と、ふ化事業を推進します。			1/4/6
指標	水産資源の増殖事業に対する補助の実施			
関連ゾーン	E.	関連部署	産業経済部産業振興室農業水	産振興
関連ノーノ	r		課	
		~ m !!! .!!) - W) 3	

2.	地場産品の積極的な学校給食への活用推進と、子供たちへの食育を行います。			拡充
指標	持続可能な地場産品を使った学校給食の提供回数(4回/年)			
関連ゾーン	- 関連部署 教育部学校給食共同調理場			

3.	環境負荷低減に配慮した農業の普及啓発に取り組みます。			新規
指標	普及啓発の実施			
関連ゾーン	С	関連部署	産業経済部産業振興室農業水 課	産振興

基本戦略③

施策3: 生物多様性を活用して二次・三次産業を積極的に支援します。

1.	樽前山、美々川、ウトナイ湖を対象とした苫小牧市への誘致モニターツ アーを実施し、生物多様性を学べるモデルコースを設定します。 拡充			拡充	
指標	モデルコースの設定 モデルコースの情報発信				
関連ゾーン	A, D	関連部署	・環境衛生部環境生活課 ・産業経済部産業振興室観光	振興課	
2.	エコツーリズムに関する情報	(ツアーやフ	ットパス等)を集約して発信	ماريا	
۷.	し、エコツーリズムにおける。	アナーの啓発	も行います。	拡充	
指標	情報発信ポータルの設置				
即本ゾ ハ		間,率如 盎	·環境衛生部環境生活課		
関連ゾーン	_	関連部署	· 産業経済部産業振興室観光	振興課	
3.	エコツーリズムとしての野鳥観	見察や湿原利	用のルールを作成します。	拡充	
指標	利用ルールの作成				
関連ゾーン	_	関連部署	·環境衛生部環境生活課		
		関連即有	· 産業経済部産業振興室観光	振興課	
4.	ビジット苫小牧観光会議等の場を活用し、エコツーリズムの気運の醸成		エコツーリズムの気運の醸成	松相	
4.	を図ります。				
指標	_				
HH74- 3		887445 EM	・環境衛生部環境生活課		
関連ゾーン	_	関連部署	• 産業経済部産業振興室観光	振興課	

基本戦略 ④ :

自然と生きものと共存できる暮らしへの転換、潤いある生活と文化の継承

施策1: 【重点】環境教育を強化し、生物多様性に関わるユース世代の活躍

を支援します。

1.	小学校等での環境教育を実施します。			拡充	
##- c4+	小学校等における「自然ふれあ)い事業(ウ	トナイ・生きものラボ)」「ここ	ろの授	
指標	業」の実施回数(50回/年)	業」の実施回数(50回/年)			
関連ゾーン		1月年初 翌	• 環境衛生部環境生活課		
	_	関連部署	・教育部指導室		
2.	環境副読本の更新時に、生物多	環境副読本の更新時に、生物多様性に関する記載を盛り込みます。 新規			
指標	副読本に生物多様性を記載				
関連ゾーン	- 関連部署 環境衛生部環境生活課				
3.	地域と連携した緑化活動等にて、自然環境や生物多様性について学べる			#÷-*	
J.	環境教育を実施します。			拡充	
指標	生物多様性を学ぶ自然体験・環	環境教育の実施	施件数(1件/年)		
関連ゾーン	-	関連部署	• 環境衛生部環境生活課		
4.	プラスチックごみの排出量を削	削減するため	に、市民や事業者の行動変容	拡充	
7.	を促すための支援を実施します。			加兀	
指標	支援事業の件数 (2件)				
関連ゾーン		関連部署	環境衛生部ゼロごみ推進室ゼ	ロごみ	
ME		DATH TO A	推進課		

基本戦略④

施策 2 : 生物多様性を活用し、誰もがウェルビーイング(身体的に良好なだけで なく心身ともに満たされた状態)を感じられるまちを実現します。

<施策を推進す	る取組>						
1.	道の駅、ウトナイ湖遊歩道等、に対する情報発信を実施します		合う場の維持・管理や利用者	拡充			
 指標	自然情報の発信回数(12回/年)						
関連ゾーン	D	関連部署	・環境衛生部環境生活課 ・産業経済部産業振興室観光	振興課			
2.		生物多様性や文化継承に関連する講座や資格講習会の実施、ボランティ 拡充 ア機会の創出、人材育成、緑化相談、情報発信等を実施します。					
	ボランティア活動の機会(5回						
指標	ボノンノイノ 佰動の機会 (3 回/4 講座や講習会等の実施 (3 回/4						
関連ゾーン	-	関連部署	・環境衛生部環境生活課 ・都市建設部緑地公園課 ・教育部美術博物館				
3.	北海道大学苫小牧研究林の研究	に活動や教育	活動を広く市民に共有する機	拡充			
0.	会を支援します。						
指標	研究活動の公開や利用の件数	(2件/年)					
111/15	苫小牧研究林が実施する環境参	女育活動への き	支援策の検討				
関連ゾーン	В	関連部署	環境衛生部環境生活課				
4.	就労支援として、生物多様性の	の保全に役立	つ技術習得(緑地管理の軽作	新規			
	業や、自然の知識等)のためのプログラムを実施します。 新規						
指標	就労支援プログラムの実施						
日日ン古、ジー・ン		明/平分/ H	・福祉部総合福祉課				
関連ゾーン	C, E, D	関連部署	・福祉部障がい福祉課				
5.	ウェルビーイングを向上するた	こめ、誰もが	(多様な対象) 自然の恩恵を	新規			
0.	受けられるよう、緑や生きものをとおした自然体験の機会を創出します。						
指標	多様な対象に向けた自然体験の	機会創出					
			・教育部美術博物館				
関連ゾーン	B, C, E, D	関連部署	・環境衛生部環境生活課				
	D, C, E, D		・福祉部総合福祉課				
			・福祉部障がい福祉課				

基本戦略④

施策3: 樽前山から海へと続く、苫小牧ならではの郷土の風景、文化を維持しま

す。

<施策を推進する取組>

	1	【②2-2 再掲】海岸の生物多様性保全として、団体・市民等と協力した海			h-1
1.		岸清掃や、生分解性プラスチックへの移行推進等を行います。			拡充
	指標	海岸清掃の実施回数(1回/年)			
関連ゾーン - 関連部署 環境衛生部ゼロごみ		環境衛生部ゼロごみ推進室ゼ	ロごみ		
				推進課	

基本戦略④

施策4: 野生動物と人との軋轢を解消するため、具体的な対策を検討します。

<肥束を推進り	の収組>				
1.	エゾシカ円卓会議を継続して実施することで、対応策の検討に活かしま 拡充				
指標	エゾシカに関する交通事故件数	エゾシカに関する交通事故件数の減少(前年比で減少)			
	農業被害の金額(前年比で減り	>)			
関連ゾーン	・産業経済部産業振興室農業水産 - 関連部署 興課 ・環境衛生部環境生活課				
7172111-117172-11717					
2.	市民向けの野生動物に関する勉強会や出前講座等を実施します。 拡充			拡充	
指標	勉強会や出前講座の実施件数	(4回/年)			
関連ゾーン	-	関連部署	・産業経済部産業振興室農業 興課 ・環境衛生部環境生活課	水産振	
3.	苫小牧市自然環境保全審議会による協力体制の構築と進行管理を行いま す。 新規			新規	
指標	苫小牧市自然環境保全審議会で	苫小牧市自然環境保全審議会での進捗報告 (1回/年)			
関連ゾーン		関連部署	環境衛生部環境生活課		

基本戦略 ⑤ : 自然・生物情報を活用するための基盤整備

施策 1: 【重点】科学的なデータや自然情報の蓄積と共有、情報交換の場を整備、市域全体の生態系ネットワークを見える化(地図化)し、基本戦略①②③④を円滑にかつ具体的に進めます。

<施策を推進す	る取組>				
1.	国や北海道、苫小牧市美術博物館等と連携して、基礎的な生物調査や環 境調査を実施し、科学的なデータを蓄積します。				
 指標	生物情報データベース作成				
関連ゾーン	_	関連部署	・環境衛生部環境生活課 ・教育部美術博物館		
		±+n -	ラ 片独和田 2 2 2 2 2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		
2.	自然環境に関する情報(生物情	. ,	,	ماداد	
۷.	育情報、エコツーリズム情報等)をオンラインのポータルに集約して公 拡充				
	開し、SNS 等も活用して情報を発信します。				
指標	ポータルの設置				
	SNS の活用回数(4 回/年)				
関連ゾーン	- 関連部署 環境衛生部環境生活課				
3.	保全活動に活用するため、ハスカップやヤチヤナギの自生地情報を苫小 牧市美術博物館で集約し、自生地マップを作成します。				
+12+元		ニ地マツノを	作成します。		
指標	地図情報の整備		am (do /dez el das am (do el Nec am		
関連ゾーン	_	関連部署	•環境衛生部環境生活課		
		NAZII I	・教育部美術博物館		
	生性 互接性の同復 台田士極	1 の 仏 粉 夕 谷	州田小一 プ (女送州のウー		
4.	生物多様性の回復・創出支援用			新規	
110 Tall	が可能、劣化地を示したマップ	/) を随時更	新します。		
指標	マップの作成・更新				
関連ゾーン	_	関連部署	環境衛生部環境生活課		
5.	苫小牧市指標種の選定を行いま	 <す。		新規	
指標	指標種の選定				
関連ゾーン	_	関連部署	・環境衛生部環境生活課 ・教育部美術博物館		

基本戦略⑤ 施策1

6.	苫小牧市版レッドリストを作成します。			新規
指標	レッドリストの作成			
関連ゾーン	-	関連部署	・環境衛生部環境生活課 ・教育部美術博物館	

7.	指標種を対象とした市民参加型調査を実施します。			新規
指標	調査の実施件数 (3件/令和12年 (2030年) まで)			
関連ゾーン	A, B, C, D, E, F 関連部署 環境衛生部環境生活課			

基本戦略⑤

施策2: 生物多様性の向上に資する取組を支援する制度設計を推進します。

<施策を推進する取組>

	1.	環境保全や生物多様性に配慮した企業の取組に対してのインセンティブ (入札参加要件の優遇、加点措置等)を設定します。					
	指標	インセンティブの導入検討					
	関連ゾーン	-	関連部署	環境衛生部環境生活課			
	2.	市の事業で生物多様性への不可逆的な作用がないか点検します。			新規		
14年 事業の上校							

۷.	2. 同の争業で生物多様性への不可要的な作用がないが点検しより。					
指標	事業の点検	D.点検				
関連ゾーン	_	関連部署	環境衛生部環境生活課			

基本戦略⑤

施策 3 : 北海道、周辺市町村、国との連携を強化し、産学官民の ALL 苫小牧

で、生物多様性の保全対策を推進します。

1.	近隣自治体及び北海道、国との じて生物多様性地域戦略の見頂			新規
	推進します。			
指標	協力体制の構築			
1日保	生物多様性地域戦略の見直し			
関連ゾーン	_	関連部署	環境衛生部環境生活課	